



# アジア州

## 国家の位置と安全保障からみた中央アジア —中央アジアの国際関係を知ろう—

### → ねらい

「国家の位置と安全保障」に関して、地域（中央アジア）の具体的な事実を知る。

### → 学習課題

- 中央アジアは、世界（ユーラシア大陸）の中でどのような位置にあるだろうか？
- 中央アジアでは、どのような産業が盛んだらうか？

### → 学習の見取り図



▲中央アジア



### A 周辺諸国との位置関係



▲中央アジアと周辺諸国

中央アジアは、ユーラシア大陸のほぼ中央に位置する乾燥地帯で、5つの内陸国から構成されます。具体的には、南北をロシアと中国に挟まれたカザフスタン、南は中国と接するキルギスとタジキスタン、南はアフガニスタンと接するウズベキスタン、そしてアフガニスタンとイランと接するトルクメニスタンです。このように中央アジアは、ロシアと中国という二大国と、南・西アジア各国の中間地帯に位置しています。

中央アジアにくらす人々の多くはトルコ系で、イスラム教を信仰する人が多い地域です。旧ソ連(ロシア)が存立していた時代は、自治国としてその支配下に入っていましたが、ソ連の崩壊とともに独立を果たしました。



### B 多様で豊富な地下資源



▲カザフスタンの油田

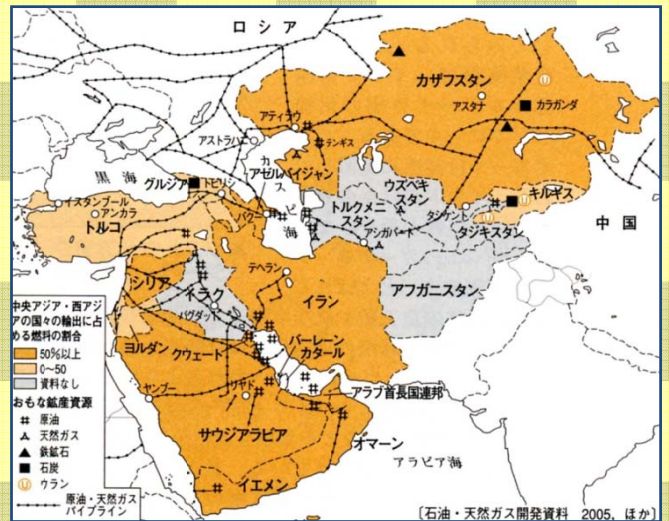
この地域は地下資源が豊富で、各国の重要な輸出品となっています。もっとも面積の大きいカザフスタンでは、亜鉛・金・銀・銅などの鉱物資源が、原油・石炭、ウランなどのエネルギー資源とともに国内産業を支え、また重要な輸出品となっています。トルクメニスタンやウズベキスタンは、天然ガスの産出量が世界有数で、原油も輸出しています。タジキスタンは、アンチモン・金・銀・水銀などを輸出しています。キルギスでは、近年、金の輸出が伸びています。

内陸国の場合、これらの資源を輸出しようとする、隣接諸国を通過する必要があります、それが大きな障壁となっています。



輸出品	カザフスタン	キルギス	タジキスタン	ウズベキスタン	トルクメニスタン
動・植物類	12	5.8	4.7	1.3	0.4
動物・植物性油	0.1	0.1	-	0.6	-
加工食品	1.9	12.2	1.9	1.4	0
鉱物	38.5	15.8	29.3	20.1	55.6
化学製品	7.3	3.4	3.5	3.3	0.3
木材及び加工品, 製紙	0.3	0.4	-	-	-
繊維, 繊維製品	1.9	10	24.5	63.3	43.5
非貴金属及び加工品	30.6	5.5	29	6	-
機会, プラント	2.8	7.5	0.9	1.8	-
輸送機器	1.2	1.8	2.3	1.5	-
機具, 時計, 楽器	0.2	0.2	-	-	-
その他	3.6	37.6	4.1	0.9	0.3

▲中央アジア諸国の輸出品目



▲中央アジアのパイプライン



歴史の学習で、東西交流について勉強したね



▼紺瑠璃杯と五弦琵琶



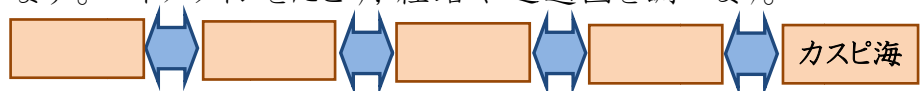
## I 国名・用語の意味を調べる

1. 左のページの地図に、次の国名を書き込みましょう。また、次の用語の意味を調べましょう。  
 国名: カザフスタン, キルギス, タジキスタン, ウズベキスタン, トルクメニスタン, ロシア, 中国, アフガニスタン, イラン  
 用語: イスラム教, ソ連, パイプライン, シルクロード

## II 事実を比較・分類・概括する

	1位	2位	3位
カザフスタン			
キルギス			
タジキスタン			
ウズベキスタン			
トルクメニスタン			

3. 中央アジア5カ国の輸出品を比較し、全体としての傾向性を説明しよう。
4. 中央アジアの石油や天然ガスはパイプラインで輸出されています。パイプラインをたどり、経路や通過国を調べよう。



## III 私たちの生活と結びつける

5. 中央アジアと日本とのつながりを、写真を手がかりに文章にまとめよう。シルクロードの地図から、現在の中央アジアの国々に属する都市を探そう。





# アジア州

## 国家の位置と安全保障からみた中央アジア —中央アジアの国際関係を捉える概念をつくろう—

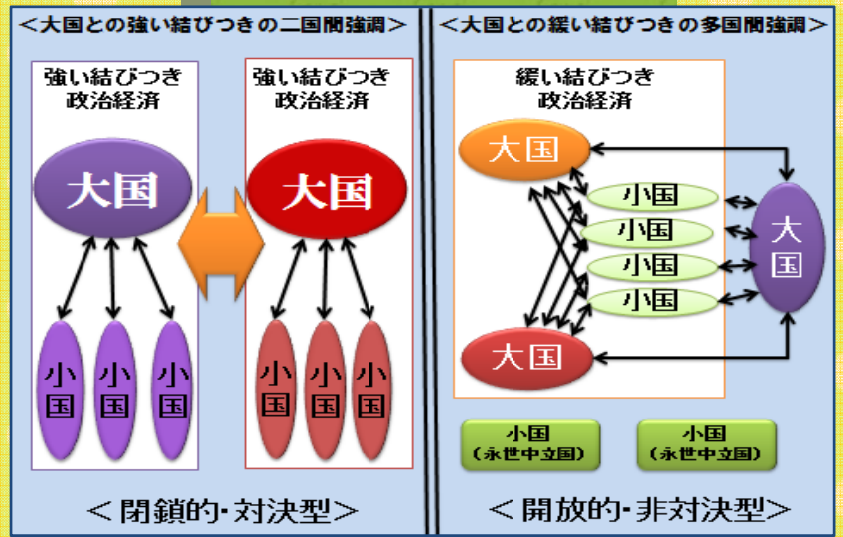
### → ねらい

「国際関係」を説明する一般的な理論を知る。

### → 学習課題

大国に接する小国は、どのようにして安全や独立を得ようとするのだろうか？

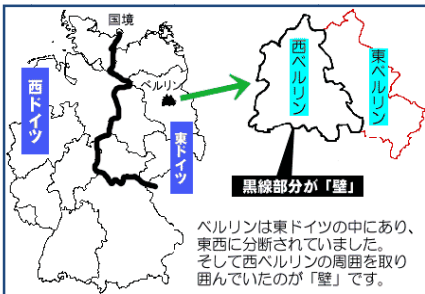
### → 学習の見取り図



▲2つの外交モデル



## 大国との二国間協調



▲ベルリンの壁

各国の国際関係は、大きく2つにモデル化できます。

1つは、大国との強固な結びつきを基盤とした二国間協調です。具体的には、冷戦時代のワルシャワ条約機構や大西洋条約機構の加盟国のような軍事的なつながり(同盟関係)と、イギリス連邦のような旧宗主国と旧植民地との経済的・政治的なつながりが挙げられます。これらの関係は、他のグループに対して対抗的・敵対的であり、グループ内の大国を中核とする閉鎖的で、ピラミッド的な結びつきを特徴とします。

このような国際関係において、小国は大国に依存することで安全や通商・貿易は保障されますが、対抗グループとの関係は不安定となります。



## 多国間協調

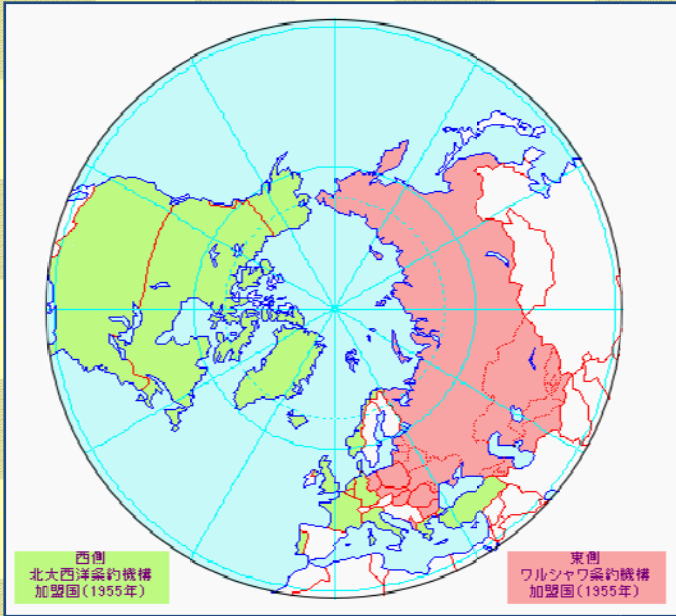


▲アメリカ・ベトナム会談(2010年)

もう1つのモデルは、複数の国々との緩やかな結びつきを基盤とした多国間協調です。具体的には、アジア太平洋経済協力(APEC)のような組織を挙げることができます。この関係は、非対抗的・開放的で、特定のグループにとらわれないネットワーク的な結びつきを特徴とします。

このような国際関係の場合、小国は特定の大国に縛られることなく他のグループとも連携して、かけひきのキャスティングボードを握ることができます。その結果、大国を揺さぶり、小国の要求を実現させることができる一方で、判断を誤ると不安定な立場に陥ることもあります。





▲東西冷戦の世界

冷戦時代，中央アジアは，世界のなかでどのような役割を果たしていたのだろう。



貿易相手国には，当時の国際関係や経済状況が端的に表れていますね。

順位	1960年	シェア	1980年	シェア	2000年	シェア
1	米国	27.2	米国	24.2	米国	29.7
2	香港	3.9	旧西ドイツ	4.4	台湾	7.5
3	フィリピン	3.8	韓国	4.2	韓国	6.4
4	オーストラリア	3.6	台湾	4.0	中国	6.3
5	カナダ	2.9	中国	3.9	香港	5.7
6	タイ	2.9	サウジアラビア	3.7	シンガポール	4.3
7	インド	2.7	香港	3.7	ドイツ	4.2
8	インドネシア	2.7	シンガポール	3.0	英国	3.1
9	台湾	2.5	英国	2.9	マレーシア	2.9
10	韓国	2.5	インドネシア	2.7	タイ	2.8

▲日本の輸出相手国の変化

順位	1960年	シェア	1980年	シェア	2000年	シェア
1	米国	34.6	米国	17.4	米国	19.0
2	オーストラリア	7.7	サウジアラビア	13.8	中国	14.5
3	マレーシア	5.0	インドネシア	9.4	韓国	5.4
4	クウェート	4.6	アラブ首長国連邦	5.8	台湾	4.7
5	カナダ	4.5	オーストラリア	5.0	インドネシア	4.3
6	フィリピン	3.5	カナダ	3.4	アラブ首長国連邦	3.9
7	インド	2.8	イラン	3.1	オーストラリア	3.9
8	旧西ドイツ	2.7	中国	3.1	マレーシア	3.8
9	サウジアラビア	2.4	マレーシア	2.5	サウジアラビア	3.7
10	メキシコ	2.3	クウェート	2.5	ドイツ	3.4

▲日本の輸入相手国の変化

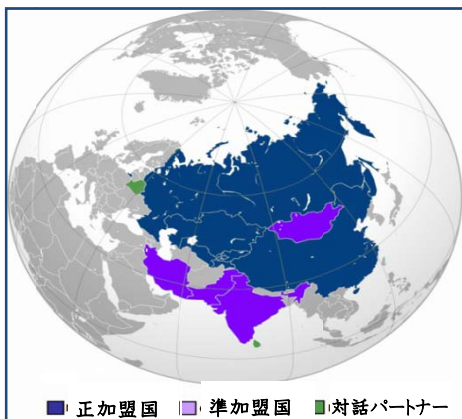
## I 言葉の意味を調べる

1. 次の用語の意味を調べましょう。

冷戦，ワルシャワ条約機構，北大西洋条約機構(NATO)，アジア太平洋経済協力(APEC)，上海協力機構(SCO)，外交政策

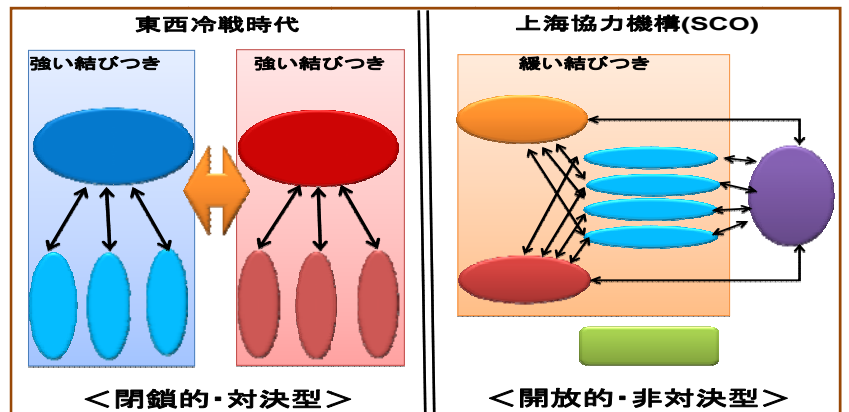
## II 事実を例示する，説明する

2. 10枚のカードを配分するロールプレイングを，2つの国際関係モデルにのってやってみよう。小国の気持ち，大国の気持ちを代弁しよう。



▲上海協力機構(SCO)

3. 下の図に具体的な国名を入れて，中央アジアの①冷戦時代の国際関係と，②現在の国際関係を説明しよう。



## III 理論を応用する

4. 日本の貿易相手国はどのように変化しているか，大きな傾向性を説明しよう。またその理由を，2つのモデルを活用して説明しよう。





# アジア州

## 国家の位置と安全保障からみた中央アジア —概念を活用して中央アジアの課題を考えよう—

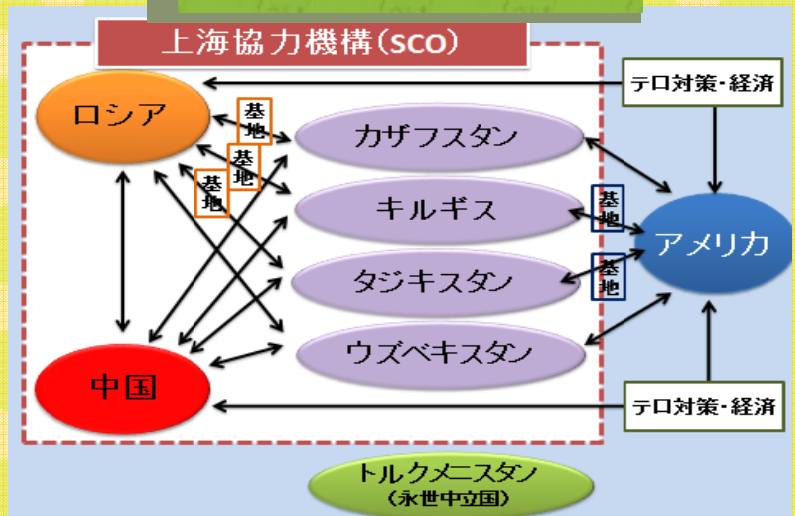
### → ねらい

一般的な理論を活用して、「国家の位置と安全保障」に関する地域(中央アジア)の具体的な課題を知る。

### → 学習課題

- 中央アジアの国々は、どのようにして独立と安全を確保しているのだろうか？
- 日本は、どのようにして独立と安全を確保しているのだろうか？

### → 学習の見取り図



▲上海協力機構とアメリカの関係

## A ウズベキスタンの 大国との連携



▲ ウズベキスタン大統領を  
ロシア大統領訪問(2006年)



中央アジアのウズベキスタンって国、知ってる？  
独立国家共同体(CIS)っていうロシア側のグループに入っているのに、2005年まで国内にアメリカの軍隊が常駐していたらしいよ。どうしてかしら？

ソ連から独立した時、一度 CIS のメンバーに入ったけど、ロシアの強い支配に抵抗していたみたい。そんなとき、国内のテロ対策とアメリカの国際テロ対策の利害が一致して、米軍を受け入れたんだって。でも今では完全撤退したらしいけど…。



民主化で後れをとっているウズベキスタンは、アメリカから民主化を要求される前に米軍の完全撤退を要求したそうよ。ウズベキスタンは、大国のロシアやアメリカと、どのように付き合い合っているのかしら。

## B トルクメニスタンの 中立政策



▲ 永世中立を記念した  
ニュートラルティ・アーチ

「永世中立国」って、どこか知ってる？ スイスが有名なのは知っているけど、中央アジアにもあるんだよ！ 知っているかな？



トルクメニスタンは、国連に「永世中立国」として国連に承認されているよ。中央アジア各国が加盟している上海協力機構(SCO)にも入っていないし、他のどのグループにも入っていないよ。

どうしてトルクメニスタンやスイスは、外国のグループと協力し合ったりしないのかなあ？





◀米国とウズベキスタンの軍事提携(2002年)

朝日新聞 2006年6月7日 朝刊 7ページ 東京本社

### 上海協力機構首脳会議 アフガン大統領出席へ

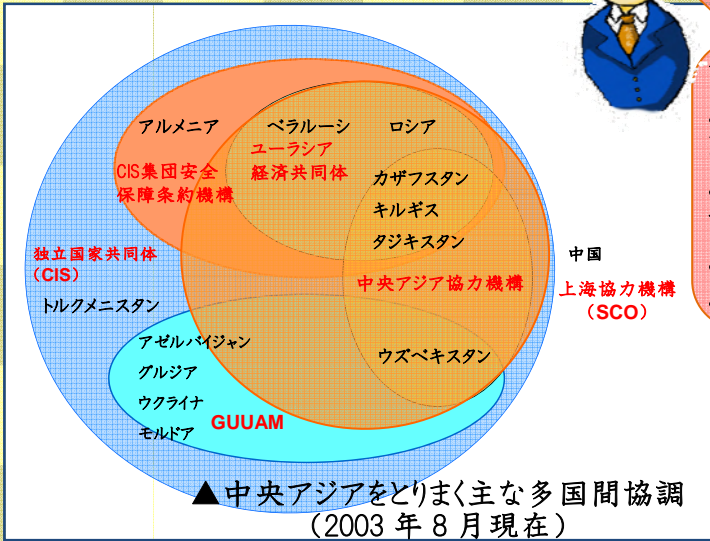
来月中旬のアフガニスタンのスパンタ外相は6日、東京で日開かれた中央アジア首脳会議に出席し、15日に開催予定の中央アジアと中国、ロシアを中心とする上海協力機構(SCO)首脳会議に、カルザ大統領が出席することを確認した。外相は二つの会議は競争・対立関係にあるわけではなく、両方の会議に参加して、アジア中央に位置する国として格躍し役を果たしたいと述べた。

スパンタ外相が東京で記者団と話し合った。アフガニスタンのスパンタ外相は、アフガニスタンの発展のため、国際テロの撲滅と民主化の促進を目的として、上海協力機構(SCO)に加盟することを希望している。また、アフガニスタンの発展のため、国際テロの撲滅と民主化の促進を目的として、上海協力機構(SCO)に加盟することを希望している。

アフガニスタンのスパンタ外相は、アフガニスタンの発展のため、国際テロの撲滅と民主化の促進を目的として、上海協力機構(SCO)に加盟することを希望している。



アフガニスタンは、なんという会議に出て、どのような国と連携しようとしていますか。記事を読んで、左のような図にあらわしてみよう。



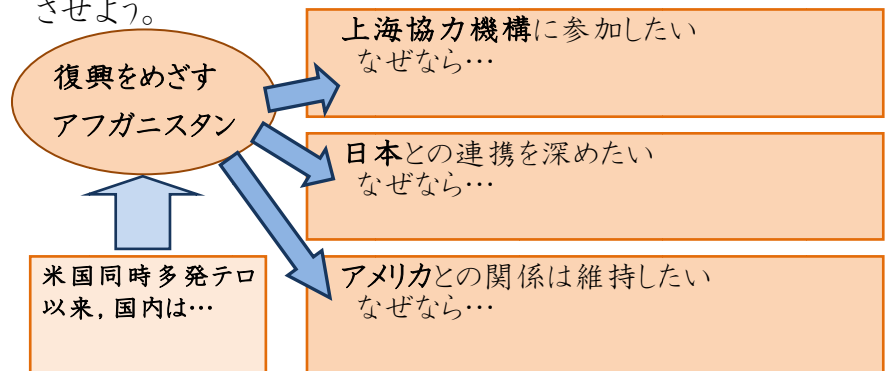
▲上海協力機構の拡大の動き

## I 言葉の意味を調べる

1. 地図に、下の地名の位置を書き込みなさい。また、下の用語の意味を確かめなさい。  
地名：ウズベキスタン、トルクメニスタン、独立国家共同体(CIS)、アフガニスタン  
用語：国際テロ、民主化、永世中立国、
2. ウズベキスタンとトルクメニスタンは、中央アジアでどのような地位を得ようとしているのだろう。各国の戦略を比較しよう。
3. アフガニスタンは、なぜ同時に複数のグループに参加しようとしているようだろう。意図を予想しながら、以下の図を完成させよう。



▲日露首脳会談(APEC 2011年)



## III 予想・意見を主張する

4. 戦後、日本は外国とどのような関係を築いてきたか、ある国またはグループを取り上げ、説明しなさい。またこれからは、①どのようなテーマで、②どんな国々と、③どのような関係を築いていくべきか、あなたの意見を述べなさい。

